

遠野風土記

18



市指定天然記念物
所在地 宮守町下鱒沢高館
所有者 小友康正やすまさ

エドヒガンザクラ

宮守町下鱒沢には「高館の古桜」と呼ばれ、地域の人々から親しまれている桜の古木があります。

この桜はエドヒガンザクラで、県内にあるエドヒガンザクラの巨樹の中でも十本の指に入る名木です。幹周り五百五十五センチ、根元周り七百七十センチ、樹高は十五メートルあり、推定樹齢は約七百年ほどです。

関東地方を中心に広く分布するエドヒガンザクラ（江戸彼岸桜）は、彼岸のころに開花することからこの名前が付けられたといわれています。寿命が長く、全国に名木が多く残っています。

高館のエドヒガンザクラは、猿ヶ石川のほとりの河岸段丘に立っています。巨幹下部の腐朽が著しく進み、大きな空洞ができていますが、樹勢を取り戻すための防腐保護処理が施され、毎年元気に花を咲かせています。

由緒は古く、今から約七百年前にこの地を治めていた面懸左衛門尉がこの桜を植えたといわれています。

地域の名木として、また歴史のある館址の巨木として貴重なものです。



ホット
cup of coffee
待望の仙人峠道路が開通しました。平成十四年に新仙人トンネルが貫通したとき、子どもたちを連れて歩く会に参加。枯松沢の谷の深さを眼下に、ここに橋をどうやって作るの？と思っただけが思い出されず。図らずも四年ぶりに広報を担当。取材を通じて市民の皆さんと触れ合う楽しさを改めて感じた半年間でした。（小向）

「仙人峠道路開通」大出小中学校閉校。二つの出来事に、時代の移り変わりを感じました。◆以前の広報を読み返していたら、平成十二年十二月号の「青春のトーク」に自分が…編集する立場になるとは思ってもいなかった採用一年目のあの日、あの時。◆二十、三十年後に見ても「良かった」と思われる広報紙作りに四月以降も頑張ります。（馬場）